



JICA いちおし 10月号

(2017年10月2日発行)



* 国名にはリンクを張っております。あわせてご確認ください。

アルゼンチン

いちおし！

カイゼン・プロジェクトの開始

JICA が世界中で実施しているカイゼン・プロジェクトがアルゼンチンでも開始されます。

本プロジェクトの開始については昨年 11 月の安倍首相の来亜時および本年 5 月のマクリ大統領の訪日時に発表された共同宣言等においても言及されており、マクリ大統領の進める自由開放経済に向けた改革のみならず、両国間のますます活発な貿易通商関係にも貢献することが期待されています。

プロジェクトは生産省、国立工業技術院を主な実施機関として、アルゼンチンのカイゼン・アドバイザーの育成、企業への改善指導の強化を行う計画で、5 年間で 100 社にカイゼン運動を普及し、各社の生産性・国際競争力の向上、ビジネス拡大を目指します。

またこれらのカイゼン運動を通じて、有望なサプライヤー企業を発掘・育成することで、当地に進出している（しようとしている）日本企業の良いビジネスパートナーとすることも狙っており、日本とアルゼンチンの双方がウィウインの関係となることを目指します。そのためにも日本企業に蓄積されたカイゼンのノウハウ・経験をプロジェクトで活用させていただく予定です。

[表紙へ](#)

グアテマラ

いちおし!

グアテマラ人研修員 in 長野 ～母子保健・栄養改善の取り組みを学ぶ～

グアテマラで実施中の「妊産婦と子どもの健康・栄養改善プロジェクト」では、10月9日～25日の日程で当国の保健・医療従事者10名が本邦研修に参加します。

日本到着後は、東京のJICA研修所にて日本の公衆栄養改善の歩みや保健システムにつき講義を受けます。続いて長野県佐久市に移動し、現場視察を通じて地方行政・医療施設・教育機関が「母子保健・栄養改善」の分野でどのような取り組みを行い、連携を図っているのかを学ぶ予定です。

出発前日の10月6日には研修員のモチベーションを高め、日本の技術協力を多くの人に知ってもらう目的で壮行会の開催を予定しています。約2週間の研修で出来る限りの知識を吸収しグアテマラに持ち帰ってもらうことをJICA事務所、プロジェクト専門家は期待しています。

写真は8月より本格始動した栄養改善研修の様子です。



専門家指導による補完食調理の様子



補完食の正しい与え方の演習

[表紙へ](#)

メキシコ

いちおし！

メキシコで「世界津波の日」関連イベントを開催！

メキシコ西海岸で地震・津波メカニズムの解明、地震・津波モデリングとこれら科学的知識の社会実装を目的とした「メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究プロジェクト」が、「世界津波の日」に合わせてイベントを開催します。

「世界津波の日（11月5日）」は、142か国の共同提案によって2015年12月の国連総会で決定されました。本プロジェクトでは、京都大学防災研究所を中心としたグループが、カウンターパート機関であるメキシコ国立防災センター（GENAPRED）と共催し、主な活動地であるゲレロ州シワタネホ・デ・アスエタ市で、11月5日に市民向け津波防災教育、11月6日に行政向け津波防災セミナーを計画しています。

市民向け津波防災教育では、市の中心部に複数の津波防災教育ブースを設け、市民が自由に参加できる形で行われます。行政向けセミナーでは、ゲレロ州沿岸部の防災行政職員ら150名を対象として、本プロジェクトの成果である津波浸水シミュレーションの解説や、新たに開発された防災教育教材が紹介される他、日本人専門家及びチリ人専門家が津波防災の現状や先進事例を紹介する予定で、ゲレロ州全域に津波防災文化を広げるための重要なイベントとなります。

こうした「世界津波の日」に関連した取り組みは、本プロジェクトとGENAPREDとの共同で2016年にも行われ、メキシコ政府防災関係者や地震・津波防災研究者ら多くの参加が得られました。またイベント冒頭では在メキシコ日本国大使やJICAメキシコ事務所長らが出席し津波防災における日本の貢献についても広く知られることになりました（左写真）。本プロジェクトでは継続して津波防災教育を行っており、学校教員が主体的に地震・津波防災教育に取り組めるような活動を続けている他、シワタネホと高知県黒潮町をインターネット中継で結び、遠地津波を想定した合同避難訓練を実施しています。



2016年開催の「世界津波の日」



シワタネホでの津波避難訓練

ブラジル

いちおし!

JICA 帰国研修員を通じた研修成果の普及と拡大
～自然災害セミナーの開催～

サンパウロ JICA 帰国研修員同窓会 (ABJICA) の主催で、10 月 10 日に自然災害セミナーを開始します。JICA はブラジルにおいて、サンパウロ州マイリンク市における災害に対する予防、警戒能力向上や統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト (GIDES) など、防災への支援を行ってきています。

自然災害による経済被害は年々増加傾向にあり、持続的な開発が妨げられ、さらなる貧困が生まれてしまいます。日本の防災への取り組みの経験を踏まえ、災害が発生する前の予防における支援を重視しています。

今回のセミナーでは、日本で防災分野の研修を受けた帰国研修員たちも講演を行います。自然災害の情報共有や取組紹介だけではなく、帰国研修員たちを通して日本の経験で得られた知識や経験をブラジルの現状に適応させ、広く普及させていくことも目的としています。

セミナー名：自然災害セミナー ～リスク削減と強硬なまちづくり～

日時：2017 年 10 月 10 日 (火) 8:30～13:00

場所：Casa Militar 州政府公邸内 (Palácio dos Bandeirantes)

リンク：www.abjica.org.br/desastres

